

## 編集後記

### イラスト・連載・コラムなどなど～編集後記にかえて～

2006年発行の第22巻1号から微生物および保存関連の連載がスタートし、これまでに「微生物資源の保存技術講座」, 「微生物の産業利用—はたらく有用微生物」(以上22巻1号から), 「農業関連微生物」, 「微生物の安全管理」(以上22巻2号から), 「バイオリソースをめぐる国内・国際動向」(23巻1号から), 「微生物の命名規約と関連情報」(25巻1号から)の6つのシリーズで様々な話題が掲載されてきました。この連載の、タイトルの上にそれぞれの連載に関連したイラストがあるのをご存知だと思います。これらは、森 史さん(国立環境研究所微生物系統保存施設)オリジナルのイラストです。



新しい連載が決まると、森さんに連載名を告げてイラストを描いてもらっていました。最初にスタートした「保存技術講座」や「はたらく有用微生物」のときは、森さんの頭には、すぐに様々な微生物や関連器具類の姿が浮かんだようですが(紙面下の手描きのイラスト), 「命名規約」では、ずいぶん頭を抱えていたようです。改めてご紹介します。いつもありがとうございます。

また、当初、「4回分だけ考えておいて下さい。」とあってスタートした連載が、これだけ長く続けられたのは、担当編集委員の企画力の賜物です。深く感謝します。今後も、なんらかの形で継続されることを願います。さらに、24巻2号からは、駒形和男先生と西村和子先生にコラムを担当していただき、面白い話題、貴重な写真を載せていただきました。お忙しい中、いつも締め切りを守っていただき、頭が下がる思いでした。本当は、編集顧問の先生方全員にコラムを担当していただこうと考えていましたが、こちらは実現できませんでした。

岡田早苗先生が編集委員長のときにスタートした「微生物保存機関巡り」は、前号までに10年をかけ、20の保存機関巡りを終了しました。本号ではひと休みです。一方で、新たに「還暦を迎えた微生物株」シリーズが始まります。学術企画担当理事 佐藤豊三さんの提案です。JSCCが誕生して60周年を迎えた年からの特別企画を、どうぞご期待ください。

2005年に学会誌編集委員長に就任し、定期発行と“一定の厚さ”維持に追われてきました。やり残したことは、まだまだたくさんありますが、JSCCと同い年であり、そろそろ後進に道を譲る時期が迫っています。この場を借りて、これまでのかなり独断的な編集を許し、支えてくれた、前編集副委員長の中川恭好さん、現副委員長の田中尚人さん、編集委員、顧問の皆様へ感謝し、学会誌のますますの発展を祈ります。最後に、インテルナ出版の酒井一浩さんの協力なしには務まらなかったことを添え、心から感謝します。(笠井文絵)

